

令和元年度 こども支援部会の活動報告

日 時	会議名	内 容	具 体 的 活 動
令和元年 5月16日	第1回 会議	<ul style="list-style-type: none"> ・部会長および副部会長選出 ・部会活動テーマの確認 ・今年度の活動について年間スケジュール(案)作成および役割分担の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;">＜R元年度活動＞</p> <p>1 たけまるノートの運用に関する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 啓発活動 (特に中学校との連携) ② うまく支援の中に取り入れているケースの共有 ③ お知らせの作成と配布 <p>2 不登校についての取り組み (不登校についての現状等を知る機会を持つ)</p> <p>3 放課後等デイサービス事業所交流会の開催</p> </div>	自己紹介 活動内容決定 意見交換
7月18日	第2回 会議	<ul style="list-style-type: none"> ・たけまるノート啓発と今後の活動に関し、各ワーキングに分かれての活動 (お知らせ、中学校との連携、不登校、放課後等デイサービス事業所交流会) 	意見交換・作業
9月19日	第3回 会議・講演 会	<ul style="list-style-type: none"> ・「不登校の理解と対応」と題し、奈良教育大学櫻井恵子氏の講演会を開催 ・各ワーキングの進捗状況の共有 	講演会 情報共有
10月17日	事業所交 流会	<ul style="list-style-type: none"> ・市内放課後等デイサービス事業所交流会を開催 ・情報交換および課題の共有 	13事業所のうち12事業所出席
11月28日	第4回 会議・講演 会	<ul style="list-style-type: none"> ・たけまるノート啓発活動の具体的な調整 ・各ワーキング活動の共有と今後の活動の検討 ・不登校に関する学びとして、当事者の保護者でもある、奈良県登校拒否を克服する会代表の油上清美氏の講演会を開催 	意見交換・作業 講演会
令和2年 1月16日	第5回 会議	<ul style="list-style-type: none"> ・たけまるノート啓発活動の報告と共有 ・次年度活動に向けた各自課題の発表 	意見交換・作業
2月7日	事業所交 流会	<ul style="list-style-type: none"> ・市内放課後等デイサービス事業所交流会を開催 ・「無限の療育について」と題し、one to one 永山氏から、支援についての発表を行い、情報交換も実施 	13事業所のうち12事業所出席
2月20日	第6回 会議	<ul style="list-style-type: none"> ・たけまるノート啓発状況の報告と共有 ・来年度の活動について検討 	意見交換・作業

1-①啓発活動

	啓発先	日時	場 所	備考
1	コーディネーター研修	8/27	たけまるホール	生駒市特別支援教育講演会及び生駒郡研修会
2	公立私立幼保合同園長会	1/8	生駒市役所大会議室	28名
3	生駒市小・中学校校長会	1/10	生駒市役所大会議室	19名（20小・中学校）
4	生駒市小・中学校教頭会	1/14	生駒市役所大会議室	20名（20小・中学校）
5	市外児発・放課後等 デイサービス事業所	1月	各事業所	きんぎょ（大和郡山市）、ピュアの樹、 ハッピーリング、ふれ愛（いずれも奈良市）
6	コーディネーター研修	1/28	生駒市役所大会議室	30名
7	市内放課後等 デイサービス事業所	2/7	コミュニティセンター	市内放課後等デイサービス事業所交流会

1-②中学校との連携について

- ・コーディネーター研修等の啓発のタイミングで、今後、中学校入学者のうちたけまるノートの所持者数が急に増えることを告知していく。
- ・コーディネーター通信（10回/年度）の紙面の一部に、たけまるノートについての記載をして配布（運用のタイミングでもある、1月と4月の紙面に記載する）していく。

1-③お知らせの作成について

支援者、保護者ともに適切な運用ができるよう、必要な記入や資料の準備についてのお知らせを作成した。たけまるノートを担任等に提出する時期（記載してもらう2月頃と年度初めの4月頃の各時期）に掲示および配布して活用することを目的に作成。各啓発活動の中で、お知らせについても含め啓発を行った。

2 放課後等デイサービス事業所交流会について

次年度以降も、情報共有や事例検討をしながら継続して行っていくが、部会活動としてではなく、各事業所の当番制などにして運営・対応していく。

3 不登校についての取り組み

今年度は、部会員自身の学びの場を設定し、奈良教育大の櫻井氏と、当事者保護者の油上氏の講演を聞いた。保護者も含めた支援者に、不登校に関する知識や支援方法をどう広げていくのかという課題に対し、次年度シンポジウムを開催する方向で検討する。

たけまるノート配布等状況（年次推移）

令和2年3月末現在

（配布時点区分） 児童年齢区分	配布機関	平成26・27年度 (H26.11月末～)		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		総合計 (H26年度～R1年度)	
		冊数	合計	冊数	合計	冊数	合計	冊数	合計	冊数	合計	冊数	合計
未就学	あすなろ	61	74	30	40	43	56	48	67	35	48	217	285
	障がい福祉課	13		10		13		19		12		67	
	ことばの教室									1		1	
小学生	あすなろ	16	49	8	18	8	34	7	34	0	14	39	149
	障がい福祉課	15		10		26		27		12		90	
	ことばの教室									2		2	
	部会・配布会	18										18	
中学生	あすなろ	2	8	4	6	1	3	0	0	0	4	7	21
	障がい福祉課	6		2		2		0		4		14	
高校生	あすなろ	1	5	0	0	0	2	0	1	0	1	1	9
	障がい福祉課	4		0		2		1		1		8	
配布機関別合計	あすなろ	80		42		52		55		35		264	
	障がい福祉課	38		22		43		47		29		179	
	ことばの教室									3		3	
	部会・配布会	18										18	
総合計		136		64		95		102		67		464	

※令和元年度から配布場所として、ことばの教室と和音(指定特定相談支援事業所)を追加したが、和音は今年度の発行実績がないため、標記は省略。